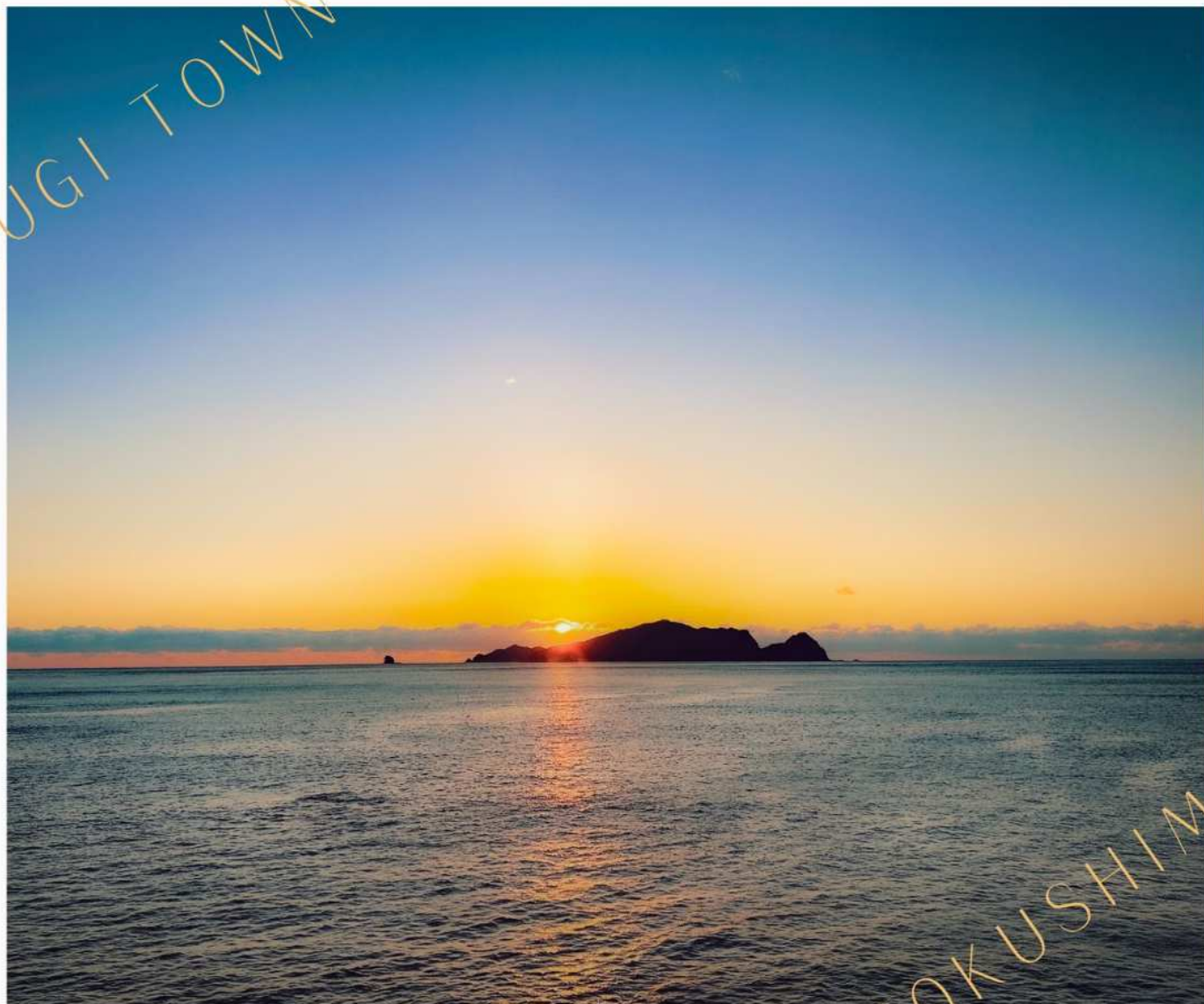


令和7年度

地域おこし協力隊インターン 活動記録



MUGI TOWN

TOKUSHIMA

TABLE OF CONTENTS

- 
- NO1/ 堀池 優那
NO2/ 岩田 悠利
NO3/ 森野 葵
NO4/ 相澤 夢果
NO5/ 山根 夕陽
NO6/ 座安 夏紀
NO7/ 神木 梨乃

地域おこし協力隊インターン

Newsletter



Yuna Horiike
堀池 優那

牟岐は「第二の故郷」と呼べる大切な場所

今夏、徳島県初の地域おこし協力隊インターンとして活動しました堀池優那（京都産業大学 木原ゼミ 四年生、奈良県出身）です。牟岐町には、大学ゼミでの活動を通じて出会いました。ゼミでは京都市内で牟岐町の魅力を発信するためにマルシェに出店したり、イベントの企画運営を行ってきました。二年前からはゼミの合宿や個人的な訪問を通して町を知る中で、自然や人の温かさ、そして地域の暮らしに惹かれてきました。「もっと自分の力で町に関わりたい」という思いが強まり、今回のインターンに挑戦しました。

インターン期間が夏休みと重なったこともあり、非常に多くのことに関わらせていただきました。主な活動は次のとおりです。

- ・ 関西万博会場での牟岐町の特産品「ゆず茶」「牟岐茶」の販売
- ・ 昭和の頃の地域の食生活についての聞き取り調査
- ・ 牟岐教育委員会の小学生対象プログラム「B G 塾」のサポートと、環境・地域食に関する講座の開催
- ・ 牟岐町在住・出身、関係人口の若者が集まる「牟岐みらいサミット」の運営支援と防災のワークショップ参加
- ・ 牟岐駅のイベント「本と珈琲の駅」の運営支援

今回のインターンでは、これまで話す

機会がなかった方々と交流することができました。地域食の聞き取り調査では、当時の暮らしを丁寧に教えてくださったり、魚を振る舞ってくださったりと、温かい時間をいただきました。他にも、防災の取り組みを通して町を守ろうとする人、教育を通じて子どもたちの未来を支える人、阿波おどりを通じて牟岐の文化を受け継いでいく人。さまざまな形で町を前向きに動かしている方々に出会いました。活動を通して知り合った人が増えれば増えるほど、牟岐への愛着も深まっていきました。

そうしたつながりの積み重ねによって、牟岐は私にとって「第二の故郷」と呼べるほど大切な場所になりました。そして何より、私に関わった方々の笑顔のために、残り半年の学生生活でできることをしたい——そう思えるようになりました。これからもこの町と人とのご縁を大切にし、未来を共に考えていける存在でありたいです。



地域おこし協力隊インターン

Newsletter



Yuri Iwata
岩田 悠利

多様な顔をもつ牟岐という町の一員として

今秋、地域おこし協力隊インターンとして活動した岩田悠利（徳島大学医学部3年／大阪府出身）です。3年ほど前より牟岐とご縁があり、むぎ図書マルシェなどのイベントで年に数回キッチンカーを出店したり、出羽島アート展でのワークショップなどに出席したりしていました。出店を通して牟岐の土地や食の魅力に触れ、実際に知りたいと思ひ、地域おこし協力隊インターンに応募しました。

3週間という短い期間の中で様々なことに関わらせていただきました。毎日のように予定があり、牟岐町内外のたくさんの方とお話することができ、とても充実した日々でした。

インターン期間中の主な活動は、次のとおりです。

- 青山学院大学コミュニティ人間科学部 地域実習帯同、牟岐の若者との意見交換企画
- 大阪公立大学経済学部松本ゼミ合宿帯同、実生ゆずの収穫体験
- 産業祭にて牟岐の食材を使用してキッチンカー出店
- ターンファームにて2日間のカフェ開催
- 牟岐若者出版社プロジェクトに向けてリソグラフィ印刷機の稼働準備

特に今回のインターンでは、牟岐を軸として牟岐町内外の様々な人のお話を聞く機会がありました。牟岐の中にいるからこそ感じることや牟岐の外から来たからこそその視点、また専門分野からの切り取り方によって牟岐の中に色んな側面があり、奥深さがあることを実感しました。

また、産業祭にて牟岐の新米、ゆず味噌、鰯節を使ったおにぎりと豚汁セットを作りました。牟岐には海も山も川もあり、食べるものはどれも美味しく、日本の豊かさにおける地方の重要性を感じました。

このインターンでは、徳島市内の大学生である私が、大学生の間、また社会人になってからも、関係人口として今後牟岐とどう関わるかを考えるきっかけにしたいという思いがありました。牟岐に定住していいながらも、牟岐の様々な魅力とこの先の課題にどう関わっていくか、牟岐の未来を考える一員として関わり続けさせていただけたら幸いです。どうぞ今後ともよろしくお願ひいたします。



地域おこし協力隊インターン

Newsletter



Aoi Morino
森野 葵

迎えられる側からお迎えする側へ

今秋、地域おこし協力隊インターンとして活動した森野葵（京都産業大学 木原ゼミ四年生・石川県出身）です。一人目のインターン生、堀池さんと同じく、大学のゼミ活動を通じて牟岐町に出会いました。「今までとは違った形で牟岐町に関わりた」と思い、インターンに応募しました。

インターン期間中、私が初めて牟岐を訪れたときのように、木原ゼミ八期生（二年生）の後輩が、初めての牟岐合宿を行っていました。大学内で授業を受けるだけでは出会うことのできない「牟岐」という町。私が初めて訪れたときも、実生ゆずの収穫時期で、さわやかなゆずの香りと、ゆっくと時間の流れる町の穏やかさ、「また来てね」と送り出してくれる人の温かさを感じていました。四年生になった今、ゼミの枠を飛び越えての活動は、懐かしい思い出を振り返りながらも、あっという間の二週間でした。

短い期間ではありませんでしたが、いつもとは少し違った形で牟岐町に関わることができたと感じています。主な活動は、次のとおりです。

- イベントチラシ作成
- 周南公立大学赤木ゼミ・京都産業大学 木原ゼミ合宿サポート
- 高知県馬路村・北川村のゆず調査
- turn farm cafe 開催（実生ゆずパウンド ケーキの販売）

また、インターンの休日に、turn farm

でカフェを開きました。ゼミ活動で関わっている牟岐の「実生ゆず」。ゆずの皮は捨てられがち、というお話を聞いて、活用したいと思い、皮をメインに使用したパウンドケーキを製作しました。一本のケーキに、二個分の実生ゆずの皮を使用したケーキは、香りが高く、一口目からゆずを感じるケーキに仕上がりました。カフェには、ゆず調査を行った、高知県の馬路村・北川村でいただいた柑子や橘、ばなな図書室の本を展示し、それらをきっかけに町の方とお話することができて楽しかったです。インターンのメイン活動場所であったturn

farmで、いつもは町の人に迎えられる側の私ですが、カフェにはたくさんの方が来てくださり、充実した休日を過ごすことができました。

四月から社会人になりますが、これからも、個人として牟岐町に関わったり、休暇中に訪れたりしたいと思っています。





Yumeka Aizawa
相澤 夢果



憧れた牟岐町 また成長して戻ってきたい場に

今冬、地域おこし協力隊インターンとして活動した相澤夢果（早稲田大学文化構想学部四年・東京都出身）です。

二〇二一年まで牟岐で行われていたサマースクールに高校生のころオンライン参加し、ずっと来たかった牟岐町に四年越しにインターンとして来ることができました。約三週間という短い期間ですが、牟岐内・外問わずイベントが充実していて、様々な活動に携わることができました。主な活動は次の通りです。

- ・ インスタ・noteを通じたイベント報告
- ・ イベントチラシ作成
- ・ 県外でのイベント参加・イベント開催のサポート
- ・ 牟岐の食についてまとめた小冊子作成
- ・ turn farm cafe 開催

イベントとひとくちに言っても、県外で行われる関係人口のイベントから、牟岐の特産品のマルシェまで多岐に渡ります。

サイズとしては小さい町だけれど、住んでいる人の魅力や生産物の魅力が強く、牟岐は求心力がある町だと改めて感じています。京都産業大学の木原ゼミと行った牟岐のマルシェに同行させていただきましたが、大学の関係者・牟岐の方ももちろんのこと、興味を持った現地の方がご来場されることも多く、大賑わいの一日でした。

turn farm cafeでは、おでんの提供をしました。寒い寒いと街中から聞こえてくる冬のはじめに、おいしいもので町のみなさんに温まってほしい、そして繋がるきっかけになればと思ったのが始まりです。おでんの販売と合わせて、私が牟岐町で食べた美味しいご飯と、そのご飯から見えてくる牟岐町についてまとめたZINEも販売しました。（※ZINEとは、個人が自主制作して印刷した小冊子のこと）

開催当日、こたつを囲み、おでんを食べながら談笑する町の方の様子を見れたのがとても嬉しかったです。

今回制作したZINEは、turn farm内のはなな図書館においていますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

この期間中に関わってくださいましたすべての方々に感謝申し上げます。定期的に牟岐にお邪魔することもふくめ、これからも長く牟岐に関わり続けられたらと思います。ありがとうございました！





Yamane Yuhi
山根 夕陽

小さな「やってみたい」

私がこの町の門を叩いたのは、大学のゼミ生が昨秋に行ったフィールドワークの発表を聞いたことがきっかけでした。ゼミの先生からのご紹介で周南市に来訪された大西さんと出会ったご縁が繋がり、地元山口とは違った地方におけるまちづくりの実態や、地域おこし協力隊の方々の活動を肌で感じたいという動機でインターンシップへの参加を決めました。

今回の活動において一つのゴールとして設定した牟岐町で2月1日に開催された「本と珈琲で巡る町」では、これまでの学びを形にするため広報・出店活動に取り組みました。InstagramやThreadsを通じて、町の穏やかな空気を大切にした動画を製作し投稿したほか、自らデザインしたチラシを用いて販売したパスタは皆様の支えもあり、完売させていただきました。また、turn farm ではレーザー刻印器を用いたスタンプラリーを企画し、景品のコースター製作や機器のマニュアル作成を通じて、デジタル技術を町に馴染ませるための橋渡しをさせていただきました。活動を通じて心に残ったのは、牟岐町という場所が持つ温かな独自性です。

を加速させる町

この町には、熱量のある人々が自然とまちづくりの中心に集まっており、街にやってくる学生の小さな「やりたい」という声を、実際に行動に移せるまで全力でサポートしてくれる風土があります。自分の挑戦を「町」という広い単位で受け入れてもらえる包容力は、この町ならではの唯一無二の魅力だと感じました。

短い期間ではありましたが映像やロゴ、チラシといったアウトプットを通じて、自分自身のスキルを牟岐町のために活かす経験ができ、伝えたいことをカタチにする力を高めることができました。これからも個人的に、また、今回関わる機会を頂いた「ひとつむぎ」のメンバーとしても、このたくさんの経験を頂いた牟岐町と関わり続けていきたいと思っています。





Zayasuki Natsuki

座安 夏紀

「また帰ってきたくなる町」

この春、地域おこし協力隊インターンとして活動した座安夏紀（周南公立大学三年（沖縄県出身））です。今回、私にとつて二度目の牟岐町でした。一度目に牟岐を訪れた際に大西さんや当時来ていたインターン生、町に関わる若者と交流したことで、牟岐町という町と、関係人口というものに興味を持ち、今回インターン生として帰ってきました。

二週間という短い期間でしたが、毎日新しいものや人にふれ、非常に充実した期間でした。今回のインターンの主な活動は次の通りです。

- ・ 町に訪れた学生・若者の受け入れ
- ・ 牟岐町で活動する若者・学生団体発表会の進行
- ・ 牟岐ふるさと会への参加
- ・ tunfarm で沖縄料理のイベント開催
- ・ tunfarm のインスタグラムより活動記録を投稿

私がインターンとして活動したこの期間は、非常に多くの若者が牟岐に集まっております。牟岐で活動する学生から刺激を受け、町だけではなく、自分自身とも向き合う機会となりました。また、インターン最終日には牟岐に普段とは違った風を吹かせたいという思いから、沖縄料理のイベントに挑戦しました。企画から準備まで、初めてのことがばかりでしたが、多くの方々の支えがあり、無事販売することができました。これまで関わってくださった方だけでなく、町の方々にも足を運んでいただけて嬉しかったです。

外から来た人を温かく受け入れてくれるこの町は、どこか安心感があり、自分にとっての第二の居場所だと感じています。私は牟岐町とそこに集まる方々が好きです。今回のインターン期間では、牟岐町に形ある成果を残すことができませんでした。が、今後も関係人口の一人として牟岐町と関わり続けていく中で、私なりに町に恩返しできればと考えています。また今回、牟岐町で活動する学生方と関わることも多く、町の皆様と接する機会が少なかつたため、次回牟岐に来た際には、より多くの方と関わりたいと思っています。ですので、皆様今後ともよろしくお願いいたします。二週間本当にありがとうございました。





Kamiki Rino
神木 梨乃

「自分をリセットできる町」

地域おこし協力隊インターンとして活動した神木梨乃（島根県立大学一回生徳島県出身）です。これまでの牟岐町地域おこし協力隊インターン生の中では初めての県内出身者だそうです。私が牟岐を訪れたのは今年の八月です。高校生の時に徳島市で行われた徳島県青少年講座に参加し、牟岐で活動している学生がいることを知り、牟岐に興味を持ち昨年の夏に訪れました。前回は一週間滞在したのですがもっと長期間牟岐で過ごしたいと思いい、地域おこし協力隊インターンに参加しました。

毎日全国各地からたくさんの方が牟岐を訪れ、刺激の多い二週間でした。今回のインターンの主な活動は次の通りです。

- 一般社団法人COA, 学生団体センターベルなど学生の受け入れ
- 若者関係人口による防災ワークショップ参加
- 百年フードサミット参加
- 学生団体センターベルのイベント参加
- 牟岐町防災訓練にて小学生の伴走
- turnfarmのインスタグラムより活動記録を投稿

地域おこし協力隊インターンとして二週間牟岐に滞在し、住民でも旅行者でも

ない立場だからこそ「関係人口」の姿を見ることができました。牟岐に想いをもって再び訪れる人や県外でいながらも活動している人、様々な人がこの町と関わっています。また、そうした人たちに牟岐を訪れてもらうだけでなく、県外にも足を運び関係を築いている役場や牟岐キャリアサポートといった受け入れ側の存在も感じることができました。

まだ牟岐を訪れた回数は多くありませんが、私にとって牟岐はサードプレイスです。県外にいても地縁も血縁もない私を気にかけてくださり、帰ってきた際には温かく迎入れてくださる、そんな人たちがいる牟岐は私にとってかけがえのない大切な場所です。普段は県外にいますが、これからも「ひとつむぎ」としてゆるやかに牟岐町に関わっていきたいと考えておりますのでこれからもよろしく願います。

